

サイト名称

伊豆沼農産ふゆみずたんぼ

法人・団体名

有限会社伊豆沼農産

希望する支援の種類

- 金銭的支援
- 人的支援
- 技術的支援

希望する支援の具体的な内容

1.金銭的支援：

- ・環境維持に欠かせない備品類の購入
- ・登米市内の小学生を対象にした食育・環境教育活動に係る経費

2.人的支援：

- ・動植物モニタリングのための人的支援
- ・農作業のお手伝い（田植え、除草、稲刈り等）

3.技術的支援：

- ・ふゆみずたんぼが渡り鳥の分散対策として有効であることの証明（定点カメラの設置、記録・分析等）
- ・農業体験がメンタルヘルス対策となることを具体化するための仕組み作り

4.その他

- ・企業活動の場づくり（社員・ご家族を対象にした地域貢献活動、福利厚生等）
- ・ふゆみずたんぼ米を活用した商品開発、物販販売

支援者向けコメント

当社はラムサール条約登録湿地・伊豆沼の畔に拠点を構える農業生産法人です。1988年の創業以来、「農業を食業に変える」を基本コンセプトに農業生産（養豚・水稻・果樹）をはじめ、ハム・ソーセージ等の食肉加工品製造、直売所・レストランの運営を通じて、地産地消の推進と農業の付加価値化に取り組んできました。

2004年からは経営理念を「人と自然へのやさしさをもとめて」と進化させ、地域資源を活用した体験プログラムの企画・実践による誘客事業を実践しています。

自然共生サイトに認定された「ふゆみずたんぼ」は、日本最大規模のマガンの越冬地である伊豆沼と、渡り鳥のえさ場となっている周辺の農地を含む地域にあります。もともと慣行の水稻栽培が行われていましたが、2011年から渡り鳥のねぐら分散および、環境に配慮した農業を目指して冬期湛水栽培を開始。同年、圃場を学習田として開放し、地域の小学生や都市部の団体・企業を対象に、年間を通じた米作り体験や生き物調査等が行ってきました。

今後は、国内外の都会人と地域住民が密接に関わるプログラムを通じて、高齢化や人口減少が進む地域の新たなビジネスモデルを構築し、生きがい創出やコミュニティの活性化に繋がりたいと考えています。目的達成のためには、都市部の企業・団体の皆様のご協力が不可欠です。

ご支援をいただけますよう、宜しく申し上げます。

